

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

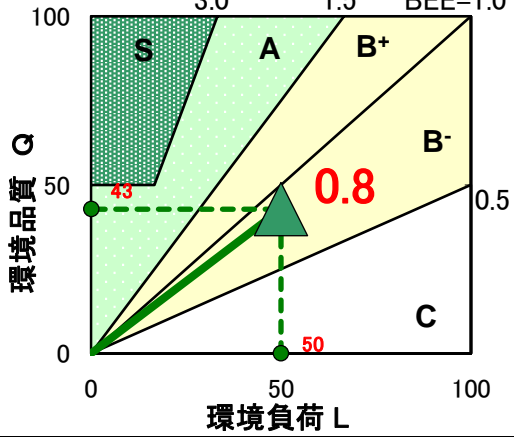
■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版\_追補版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v2.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社岩崎電機製作所工場	階数	地上2F
建設地	兵庫県丹波篠山市岩崎406-1、481	構造	S造
用途地域	白地地域、防火地域指定なし	平均居住人員	300 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年12月 予定	評価の実施日	2024年6月7日
敷地面積	21,278.00 m <sup>2</sup>	作成者	大蔭 政勝
建築面積	6,675.00 m <sup>2</sup>	確認日	2024年6月12日
延床面積	12,588.00 m <sup>2</sup>	確認者	大蔭 政勝

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE =0.8

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★★★★★



2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

標準計算

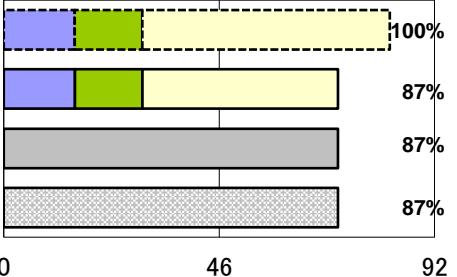
①参照値

②建築物の取組み

③上記+②以外の

④上記+

建設 修繕・更新・解体 運用 オンサイト オフサイト



0 46 92 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能

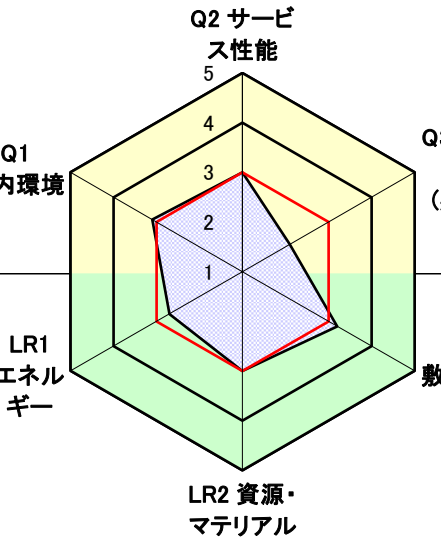
Q1 室内環境

Q3 室外環境 (敷地内)

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

LR3 敷地外環境



2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q2 サービス性能

Q3 室外環境 (敷地内)

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

LR3 敷地外環境

Q のスコア= 2.7

LR のスコア= 2.9

Q1のスコア= 3.1

Q2のスコア= 3.0

Q3のスコア= 2.1

LR1のスコア= 2.7

LR2のスコア= 3.0

LR3のスコア= 3.2

音環境 3.0

温熱環境 2.8

光・視環境 2.7

空気質環境 3.9

機能性 2.5

耐用性 3.0

対応性 3.6

生物環境 2.0

まちなみ 2.0

地域性・ 2.5

建物外皮の 5.0

自然エネ 3.0

設備システ 1.9

効率的 2.5

水資源 3.0

非再生材料の使用削減 3.1

汚染物質回避 3.0

地球温暖化への配慮 3.5

地域環境への配慮 3.3

周辺環境への配慮 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 丹波篠山市の白地地域に、鉄骨造2階建ての工場を計画した。		その他 特になし。
Q1 室内環境 化学汚染物質や喫煙の制御に配慮することにより、空気質環境を健全に保っている。	Q2 サービス性能 空間のゆとりを確保することにより、将来の更新性を高めている。	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー 断熱範囲を工夫することで、建物外皮の熱負荷抑制に努めている。	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上材を容易に分別可能とすることで、部材の再利用可能性向上への取組を行っている。	LR3 敷地外環境 燃焼機器を使用しないことにより、大気汚染防止に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

1/1